



平成28年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【中央地区】

平成29年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要		交付決定年月日	事業予算(単位:円)			
		事業の背景	事業の目的		事業の内容	全体額	申請額	交付金額
1 矢部地区六自治会協議会	第2回矢部ふれあい盆踊り実施に伴う自治会加入促進事業	住民の地域への愛着が薄れ、地域住民相互の関係希薄化が進行している。これに伴い、自治会への無関心、地域行事への参加者や自治会加入の減少が深刻化している。 また、これまで地域行事等に参加していた住民の中にも、高齢化に伴い、地域との関わりから離脱する状況も散見される。	盆踊りという地域催事への参加者増を促し、老若男女世代をまたいだ交流を通して、住人に広く地域への愛着を喚起する。 また、盆踊りの場を活用して、日頃の自治会活動・地域事業を紹介し、地域住民の連帯感を深めることで、他の地域活動への参加や自治会加入の促進、地域活動からの離脱の抑制を図る。 今年度は事業主体6自治会に関して、各1~2世帯の自治会会員増を目標とする。	自治会への加入促進団扇を作成し、村富神社で行う盆踊り当日参加者に配布すると共に、事前の呼びかけにおいて、非自治会加入者に配布することで、新規自治会加入を促進する。 自治会加入促進のぼり旗を作成し、盆踊り会場に設置。盆踊り終了後は各自治会に設置する。 盆踊りには、非自治会員も含め、広く参加を呼びかけると共に、自治会活動及び消防団の活動を周知する。 また、既存の取り組みの延長として、矢部地区防災マップを非自治会員を含む地域住民に配布し、地域のつながりを強化する。 盆踊り日程 7月22日 前日準備 7月23日 準備、実施、片付 7月24日 翌日片付 その他事前打合せ及び反省会等	6月16日	588,440	168,000	168,000
2 もみの木コンサート実行委員会	第15回 もみの木コンサート	本事業は参加者が1300人を超え、年々充実し地区の主要行事の一つになっている。しかし、急激な市街化と情報化の進展により、地域連携意識の希薄化が顕著で、自治会加入の減少や、地区子連の活動が停滞するなどの課題が生じている。 また、地域の行事や諸問題に対する認識も第三者的になるなかで、地域の諸活動をさらに充実・活性化し、担い手を育成していくことも主要な課題である。	1.音楽活動を通して、中央地区の小学校・中学校・高校および、地域住民の連携を深める。 2.音楽文化の芽を育てるとともに、子どもたちを育成し、次世代の担い手を作り出していく。 3.当日・準備を含め、各団体間の連携を深めると共に、地域活動の担い手を広げていく。 4.幅広い世代の主催者・参加者が、ともに「ふれあい・支え合い」の感動体験を共有する。 5.広報や呼びかけを工夫し、地域の文化行事としての地位を確固たるものにしていく。 6.第15回目を期に、今後の地域文化の醸成と子どもの健全育成の環境づくりに繋げていく。	1.12月23日に富士見小学校体育館を会場として、中央地区の全小学校・中学校・高校の児童・生徒、さらにシニア団体による合唱・器楽合奏を行い幅広い世代の参加・見学者が交流する。 2.15回記念の特別出演団体として、相模原市民吹奏楽団に参加を依頼する。 3.中央地区の一大文化行事となる、15回までの道のりや成果を記念誌にとりまとめる。 4.出演者に対する記念品を、地域の諸団体が連携して手作りし、ふれあいを深めていく。	6月16日	940,000	900,000	900,000
3 中央地区宇宙教室実行委員会	第2回 子どもと大人共に学ぶ宇宙教室	中央地区には、JAXAという宇宙科学の研究施設や博物館等の教育施設があるにもかかわらず、十分な活用がなされていない。 このような地域の特性を活用し、地域の子どもたちを中心に宇宙科学のすばらしさを醸成すること、夢と希望のある情操教育を行う必要性を背景に、地域の活性化を図りたい。 事業の継続こそ、地域の発展に寄与するものと考えている。	昨年度実施した「第1回子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室」の成果を得て、更なる「学術・文化の中央地区」としての地域活性化をはかり、「まちづくり」に貢献する。 今年度は、JAXA大川先生の講義とオプションツアーで、野辺山宇宙電波観測所、臼田宇宙空間観測所を見学し、宇宙からの電波受信により宇宙の“謎”を解き明かす「電波天文学」の実態を見て宇宙についての知識を深めたい。 また、昨年度の受講者82名(子ども24名、大人58名)を上回る動員を図りたい。	第1回:博物館地下会議室での講義&天体観測(9/17) 第2回:オプションツアー(1泊2日)野辺山宇宙電波観測所&臼田宇宙空間観測所(11/5~6) 第3回:JAXA&博物館探訪と天体望遠鏡での冬の星空観察(12/10) 第4回:博物館地下会議室講義(金星と”あかつき”の挑戦について)(1/14) 第5回:博物館地下会議室講義(太陽について)(2/18) 第6回:博物館地下会議室で閉校式&プラネタリウム天周映画鑑賞(3/4) その他:公民館子どもまつり、ふるさとまつりでの宇宙教室PR活動	6月16日	1,320,000	800,000	800,000

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4 中央地区みんなの食堂ネットワーク	中央地区みんなの食堂	<p>今や社会問題となっている都市部における子どもの「貧食」や「孤食」は、中央地区においても例外ではない。夫婦共働き家庭や一人親家庭の増加、また核家族化の進展により、子どもがいつも大人の愛情に溢れる温かい食事をとることが難しい家庭が多く存在する。</p> <p>一方で、中央地区は市内全地区中で自治会加入率がワースト1となっているなど、地域内の連帯意識が希薄化している現状があり、こと子育てに関しても地域全体で取り組んでいく環境が整っているとは言えない。</p> <p>そのような環境の中、地域の宝である子どもたちの健全な育成と、「子どもを社会で育てる」意識を見つめなおす必要性を感じ事業を計画した。</p>	<p>子どもたちに生活の基本である温かい食事を提供すると共に、子どもたちが安心してコミュニケーションをとることが出来る居場所作りを行う。また、親子で一緒に参加してもらうことにより、親にも地域とのつながりや連帯意識を感じてもらい、今後の子育てに地域との関わりを活かすきっかけとしてもらう。</p> <p>さらに、地域との関わりを通じて自治会や子ども会の存在意義や価値を再認識してもらい、それらの活動への積極的な参加を促すことも副次的効果として期待する。</p>	<p>中央地区内の複数箇所(今年度は相生・富士見の2箇所)に「みんなの食堂」を設置し、各食堂にて月に1~2回程度、夕食を提供する(16:30~19:00、1回毎の参加人数は20人程度を想定)。</p> <p>子どもと大人(親)が、一人でも一緒にでも気軽に利用できる食堂として、地区内に広く呼び掛けていくと共に、事業の新たな賛同者も募り、運営面での安定化を図っていく。</p> <p>その他、講演会の開催や自主財源確保を兼ねたバザーの実施、各食堂での学習支援やゲーム大会のほか、子ども参加の料理・お菓子作り教室などの実施を計画している。</p>	7月28日	323,000	142,000	89,000
5 矢部地区活性化推進協議会	第7回 YABE4 やんべまつり	<p>過去6年間実施した「YABE4 やんべまつり」は成功裏に運営できた。このイベントを通じて、目的としてきた「異世代交流」は活発化してきたが、まだまだ十分とは言えない。更なる親交を図っていく必要があるため、地域を越えた一層の交流を図り、「絆」を深めていきたい。</p>	<p>イベントへの参加促進をとおして、地域住民の自治会活動への理解を深める。さらに子ども会、老人会、大学生等の参画による一層の異世代交流を図るとともに、自治会加入率の向上を図る。</p> <p>今年度は、昨年度実績800人を超える参加と、イベントをとおした新規自治会加入5世帯以上を目標とする。</p>	<p>「第7回 YABE4 やんべまつり」 開催日:12月4日(日) 場所:村富神社 催し等内容 異世代交流を目的とした、子ども会、老人会、大学生等による「今あそび」「昔あそび」 自治会員の新規募集を目的とした、自治会加入・宣伝ブース 地域団体による模擬店、太鼓演奏 ほか</p>	10月18日	300,000	150,000	150,000
6 中央地区自治会連合会	中央地区自治会加入促進事業	<p>自治会加入活動については従来から継続して取り組んできたが、その成果は必ずしも満足できるものではない。</p> <p>そこで、今般、中央地区自治会連合会として改めて強い気持ちで取り組むこととし、その際のツールとして「自治会加入促進リーフレット」を作成する。</p>	<p>自治会加入率(数)の向上を目指し、地域内の人的交流の増大・大地震等の災害への被害防止への寄与向上をはかる。</p>	<p>ア. 自治会加入促進活動用リーフレットを増刷する 平成25年度作成の中央地区リーフレットを校正し、10,000部増刷作成。また、折り込用加入申請書を追加作成し、リーフレットに折込む。</p> <p>イ. 活動手順 本リーフレット及び市連作成の加入促進リーフレットを使った加入促進をすることとし、H29年1月自治会長会議にて各単位自治会に促進活動を依頼する。</p> <p>ウ. 単位自治会ごとに加入促進活動を展開 各単位自治会は戸別訪問により、未加入者にリーフレットを配付する。また、併せて直近の単位自治会活動を周知するためのチラシ、防災マップ等を配布しながら加入を推進する。</p> <p>エ. 活動結果の取りまとめ H29年3月下旬までに単位自治会の活動結果報告を基に活動結果を分析し、反省点をまとめる。</p>	12月20日	334,000	290,000	290,000
						3,805,440	2,450,000	2,397,000